

7月の安全運転のポイント 平成23年7月号

交差点は最も事故の起こりやすい場所であり、死亡事故の半数近くが交差点とその付近で発生しています。そこで今回は、交差点走行のなかでも特に危険の生じやすい左折時と右折時の安全走行のポイントについてまとめてみました。

左折時の安全走行のポイント

早めに合図を出し、左側方や後方の確認をする

左折時は早めに合図を出して、後続車に対して左折の意図を知らせるとともに、左側方や後方から二輪車が接近していないかどうかを確認する必要があります。この場合、サイドミラーの確認だけでは、二輪車が側方の死角に入ってミラーには映らず見落とす危険がありますから、必ず目視で直接左側方や後方の確認をしましょう。

先行左折車の動きに注意する

横断する歩行者などのために先行左折車が減速や停止をすることはよくあります。先行左折車があるときは、あらかじめ停止することを予測して十分な車間距離をとるとともに、速度を落として走行しましょう。

横断する歩行者や自転車の有無を確認する

左折時は横断する歩行者や自転車の有無を確認する必要があります。この場合、特に注意しなければならないのは、後方から走行してくる自転車です。進行方向の前方から横断してくる自転車は確認しやすいのですが、後方から走行してくる自転車は見落としやすく、左折時に衝突する危険があります（図1）。

したがって、交差点の接近時には左側方や後方の二輪車の有無だけでなく、道路を横断する歩行者や歩道を走行する自転車の有無にも注意を向け、左折するときは徐行して進行しましょう。

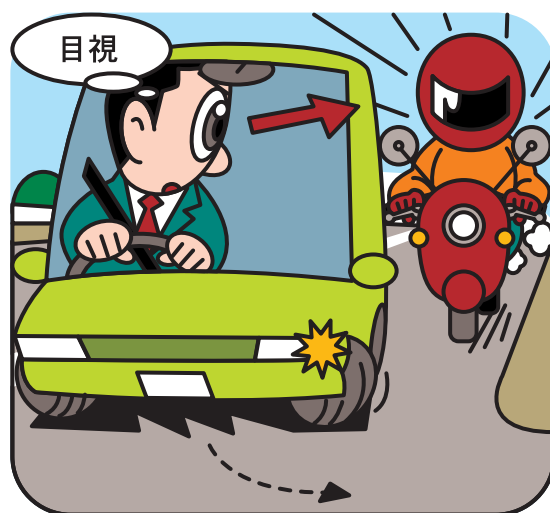
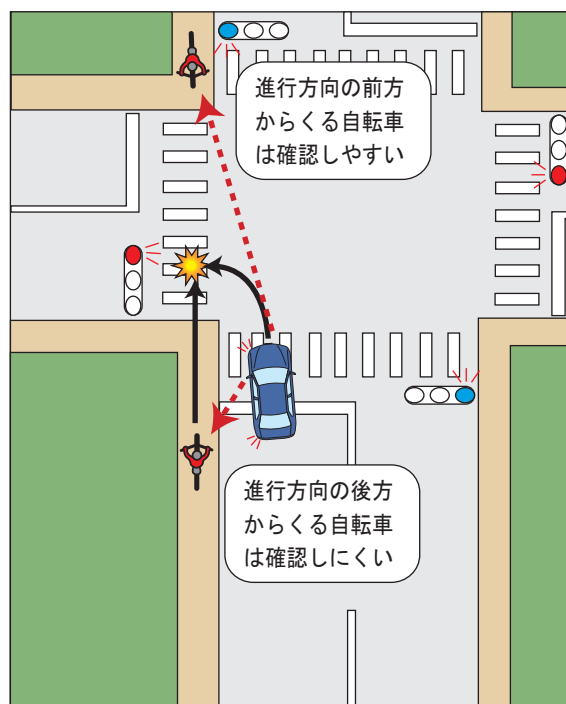


図1





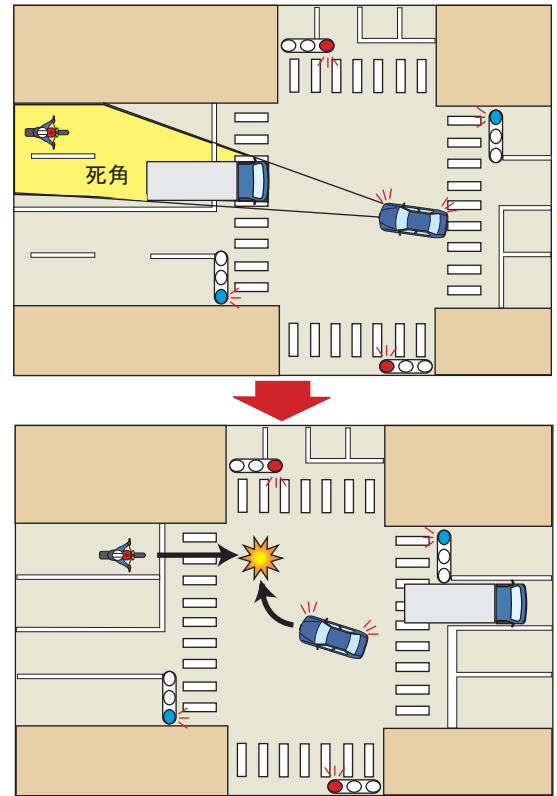
右折時の安全走行のポイント

対向直進車・左折車の有無を確認する

右折時は対向直進車や対向左折車の有無を確認する必要がありますが、待機中の対向右折車等で対向車線の状況が確認できないときは、対向車線の状況が確認できるところまで徐々に進行して一時停止し、対向車線の状況を確認しましょう。

また、対向直進車がトラックやバスなどの大型車の場合、その後方の直進車が見えないことがあります。このようなとき、対向直進車の通過直後に右折すると、それに続いて直進してくる車や二輪車と衝突する危険があります（図2）。対向直進車の通過後はその後方から接近してくる車両等の有無を必ず確認しましょう。

図2



対向二輪車に注意する

対向直進車が二輪車の場合、車体が小さいこともあって見落とししたり、その速度を実際よりも遅く判断したり、遠くにいるように感じて、接近しているにもかかわらず「右折できる」と誤った判断をすることがあります。二輪車が接近している場合は、その通過を待つことが一番の安全走行と心得ましょう。

横断する歩行者や自転車を確認する

右折時に対向車にばかり気を取られていると、横断する歩行者や自転車への注意が欠けてしまいます。特に対向車の切れ目をねらって強引な右折をすると、歩行者や自転車を見落とす危険が高まりますから、右折時は余裕をもって右折し、横断歩道の手前で停止できるよう徐行して、歩行者や自転車の有無をしっかりと確認しましょう。



対向車に道を譲られた場合でも安全確認をする

右折待ちをしているときに、対向車が道を譲ってくれることがあります。こうした場合に対向車のかげを確認せずに一気に右折していくと、対向車の向こう側から直進してきた二輪車などと衝突する危険があります。対向車に道を譲られた場合でも、一気に右折せず対向車の側方から走行してくる二輪車などの有無を十分確認しましょう。



「ご相談・お申込先」

《皆様の安全と安心のブレイントラスト（専門顧問グループ）》

株式会社ヤシロエージェンシーリミエッド 担当：八城一浩

〒107-0052東京都港区赤坂3-1-2 TEL：03-3582-4511